

がん診療における 精神症状・心理状態・ 発達障害ハンドブック

◆編集の序 小山敦子

序章

がん患者・家族と接するときの基本 小山敦子 8

第1章 精神症状の評価とアプローチ

- 1) せん妄 奥山 徹
 - ① せん妄の評価 14
 - ② せん妄の治療とマネジメント 19
 - ③ せん妄の予防 27
 - ④ 終末期におけるせん妄 29
- 2) がん患者の適応障害・うつ病 明智龍男 34
- 3) 認知症 谷向 仁 46
- 4) 不眠 小川朝生 58
- 5) 家族・遺族ケア 四宮敏章 68

第2章 心理状態の評価とアプローチ

- 1) 否認・怒り 秋月伸哉 84
- 2) 希死念慮, 自殺企図 吉内一浩 91
- 3) 不安と呼吸困難・不定愁訴 松田能宣 99
- 4) がん疼痛と心理
 ～ケミカル・コーピングと偽依存の評価..... 松岡弘道 109

第3章 発達障害を疑ったときの評価とアプローチ

- 1) 発達障害について 井上真一郎 118
- 2) ASDの評価とアプローチ 井上真一郎 122
- 3) ADHDの評価とアプローチ 井上真一郎 136

第4章 コミュニケーションとチーム医療・スタッフケア

- 1) がん医療現場でのコミュニケーション 所 昭宏 146
- 2) がん医療現場でのチーム医療 所 昭宏 152
- 3) がん医療現場でのスタッフケア 所 昭宏 158

第5章 Case Study

- Case ① 患者が精神心理的介入拒否で
 病棟・主治医が困っている 所 昭宏 168
- Case ② 宗教の影響が強く,
 現実的な目標が共有しにくい 菅野康二 173
- Case ③ 主治医が「時間がない, 患者の話を聞いてくれ」と
 チームや精神担当医に丸投げ 所 昭宏 179

Case ④ 患者と家族，あるいは家族間で 意見が一致しない	四宮敏章	183
Case ⑤ 抗がん剤が施行困難な時期に「もっと治療をしたい」と 望む患者への理想的な声かけ	菅野康二	190
Case ⑥ 否認・怒りでスタッフを振り回す	秋月伸哉	196
Case ⑦ 発達障害患者とうまく コミュニケーションがとれない	井上真一郎	202
◆索引		208

Column こんなときどうする？

- | | | |
|--|------|-----|
| ① せん妄時に内服ができず，静脈ルートもないとき
..... | 奥山 徹 | 32 |
| ② 抗うつ薬が効かない | 明智龍男 | 44 |
| ③ 認知症か？ うつか？ | 谷向 仁 | 56 |
| ④ ベンゾジアゼピン系薬剤の依存から抜けられない，
「もっと」と要求過多の場合 | 小川朝生 | 66 |
| ⑤ 家族が病名告知や薬剤投与に反対する | 四宮敏章 | 80 |
| ⑥ 「死にたい」と頻回に言う | 吉内一浩 | 97 |
| ⑦ アカシジアの見落とし | 松田能宣 | 107 |